

から松の 株式会社サトウ

北海道帯広市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

道内最大規模の国産材製材工場。カラマツ材での産業用途向けでは日本一の生産量を誇る

- 丸鋸自動研磨機の導入により鋸交換のコスト削減と高品質の確保を実施
- 道内人工林資源の有効活用で道内林業林産業の活性化に寄与
- 人工乾燥設備により道産材の中心であるカラマツ材に付加価値をつけた利用を可能としている

企業基本情報

| | |
|--------|-------------------------------|
| 所在地 | 北海道帯広市西25条北1丁目1番3号 |
| 電話/FAX | 0155-37-4141/0155-37-4513 |
| URL | http://www.karamatu-satou.com |
| 代表者 | 代表取締役社長 松永 秀司 |
| 設立 | 1947年 |
| 資本金 | 4,100万円 |
| 従業員数 | 93人 |



会社概要

道内人工林の主要樹種であるカラマツやトドマツの素材生産、製材、加工、販売までを一貫して実施。輸送用、保管用の木製パレットや輸出用木枠梱包材などの産業用途向けでは日本一の生産量を誇る。そのほか建築分野での商品として、エクステリアではカーポート、デッキ、フェンスなどを、内外装材関連では羽目板やフローリングなどの加工品も得意としている。



会社概要

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

丸鋸自動研磨機の導入によって正確な研磨が可能に

自動制御付き丸鋸研磨機を導入することで外径・歯形の異なる鋸の先端を最適且つ正確な研磨を可能としている。これにより鋸の交換サイクルが従来よりも長くなり、鋸の交換のコストが30%程度軽減。均一な鋸形状により高品質な製品の生産が可能となった。

また、この設備は全自動システムであり従来は熟練工でなければできなかった研磨を、機械操作を覚えることで若年者でも対応可能となる。



丸鋸研磨機

道内森林資源の有効活用で地場林業の活性化に寄与

自然豊かな北海道でも、「カラマツ」「トドマツ」等の人工林が主流となっている。同社はこれら道内人工林の森林資源の有効活用を目的に「カラマツ」を中心とする製材・加工メーカーとして素材生産・製材・加工・販売を積極的に行ってきた。特にカラマツはヤニが多く、生木の状態では加工、利用がしにくいいため産業用途以外で利用が少なかったが、同社の人工乾燥設備により道産のカラマツ材を建築用途などへの有効活用を可能としている。



人工乾燥設備

ヤニを除去する乾燥設備によりマツ材の利用を可能に

カラマツ材を多くの用途で利用するには、ヤニを除去するために人工乾燥を行う必要があるが、人工乾燥機を稼働させるためのボイラーは製材時に発生する木皮を燃料として利用できるバイオマスボイラーを導入し、CO2の発生を抑制することで地球温暖化防止に貢献するとともに、価値の低い木皮を燃料とすることにより、化石燃料に対して大幅なコストダウンを実現している。



ボイラー